

各位

株式会社 RS Technologies
東証プライム（3445）

**LEシステム 沖縄県の国頭村サステナブル・ビレッジ推進協議会プロジェクト
道の駅初となる「ウォーターバッテリー用電解液」を出荷**

当社連結子会社の株式会社LEシステム（本社：東京都品川区、代表取締役社長：大澤一生）は、2025年1月に、
沖縄県の^{くにがみそん}国頭村サステナブル・ビレッジ推進協議会の実施したレジリエンス事業のプロジェクト向けにウォーターバ
ッテリー（バナジウムレドックスフロー電池）用電解液の出荷をいたしました。

本プロジェクトは、沖縄県国頭村と国頭村商工会、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科が産学官相互連携
して、地域産業の創出や6次産業化、観光施設防災機能強化などに取り組むために設立された国頭村サステナブル・
ビレッジ推進協議会による取組みの1つです。LEシステムは、環境省「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する
公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」に向けて、プライム・スター株式会社（本社：東京都港
区、代表取締役社長：下田知代）と連携し、東部周遊拠点施設（道の駅「やんばるパイナップルの丘 ^{あは}安波」）への
ウォーターバッテリーの設置に際し、同電池向けの電解液を供給いたしました。

ウォーターバッテリーの「発火の恐れがない高い安全性」「半永久的にリサイクルできて長寿命」等のメリッ
トが、沖縄本島北部やんばる地域における災害対策及びカーボンニュートラル対応につながるとものと評価いた
だき、この度の導入にいたしました。詳細は下記のとおりです。

記

- | | |
|------------|--|
| 1. プロジェクト | 沖縄県 国頭村サステナブル・ビレッジプロジェクト |
| 2. 設 置 場 所 | 東部周遊拠点施設（道の駅「やんばるパイナップルの丘 安波」） |
| 3. 出 荷 数 量 | 6 m ³ （約 100KWh 相当） |
| 4. 今後の見通し | 本件が 2025 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微であります、今後重要な影響を与
える場合には、速やかに開示してまいります。 |

以上

【LE システムについて】

1970 年代から大容量の蓄電システムに適した「ウォーターバッテリー（バナジウムレドックスフロー電池）」の研究・開発に取
り組んできた LE システムは、2023 年 12 月に事業承継により RS Technologies の連結子会社となりました。RST のグローバル
ネットワークを通じてウォーターバッテリー用電解液を国内外に供給するとともに、エネルギーコスト最適化から蓄電所建設まで
をお客様に提案できるトータルソリューションプロバイダーとして、ワンストップサービスの提供を目指してまいります。



会 社 名：株式会社 LE システム
代 表 者：大澤 一生
本 社：東京都品川区大井 1-47-1NT ビル
製 造 拠 点：福島県双葉郡浪江町大字川添字中上ノ原 161
公式サイト：<https://www.lesys.jp/>

【RS Technologiesについて】

RS Technologiesは、「地球環境を大切にし、世界の人々に信頼され、常に創造し挑戦する」を経営理念に掲げ事業をグローバル展開する企業グループです。当社は大手企業の一部事業をM&A（事業再生）により譲り受け、2010年に設立しました。祖業である半導体用のシリコンウェーハ再生事業では、世界シェアNo.1のトップ企業です。2018年には中国国有の非鉄金属研究機関との合併事業を開始し、ウェーハ総合メーカーとなりました。2023年にはM&A（事業再生）により再生可能エネルギー事業にも参入しました。独自の研究開発による高品質なVRFB電解液を世界中へ供給し、安心・安全なクリーンエネルギー社会の実現を目指しています。



会 社 名：株式会社 RS Technologies

代 表 者：方 永義

設 立：2010年12月10日

所 在 地：東京都品川区大井 1-47-1NT ビル

公式サイト：<https://www.rs-tec.jp/>

